

発行所: 株式会社帝国データバンク 水戸支店 | 〒310-0026 水戸市泉町2-3-2中央ビル6F  
 TEL:029-221-3717(代) FAX:029-232-0272  
 土浦支店 〒300-0034 土浦市港町1-8-4ホープビル2号館7F TEL:029-824-2247(代)  
 (本 社) 〒107-8680 東京都港区南青山2-5-20 TEL:03-5775-3000(大代表)  
 購読料: 1年間52,500円(本体50,000円) 複写転載厳禁 ©2009 TEIKOKU DATABANK,LTD.

# TDB TEIKOKU NEWS weekly

週刊 帝国ニュース 茨城県版

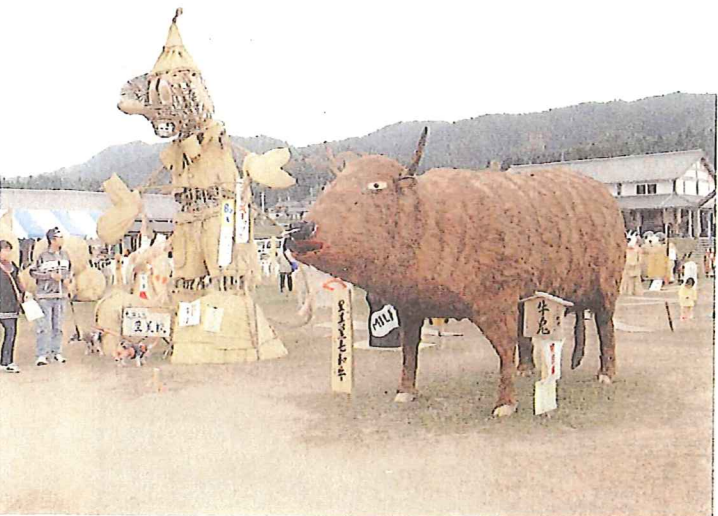
NO.1320 2009

11/27

fri.

最新ニュースはここにアクセス

<http://www.tdb-news.com/>



↑: 秋立つ竜神峡  
 ↓: 里美のかかし祭り

写真提供 常陸太田市

## CONTENTS

03—視点  
**金価格高騰の危険な兆候**  
 経済評論家 真壁 昭夫

04—最近調査の健全企業

|            |             |       |
|------------|-------------|-------|
| 末広商店       | [鉄・非鉄金属販売]  | (行方市) |
| 関東グレンターミナル | [港湾荷役・運送業]  | (神栖市) |
| エディファミリー   | [冠婚葬祭業]     | (水戸市) |
| 関根電気       | [電気工事]      | (茨城町) |
| 潤工社        | [電線・ケーブル製造] | (笠間市) |
| 郡司材木店      | [木材販売]      | (筑西市) |

05—TOPICS  
 「企業再生支援機構について」～その3 再生手法の具体例～

06—元氣企業 ~in いばらき  
**S.P.エンジニアリング(株)(日立市)**

08—良く見える決算書と悪く見える決算書 <第26回>  
**自社決算書の見方 (5)**

11—特別企画  
**外食産業の倒産動向調査**

16—話題の倒産を追う  
**ロプロ (東証・大証1部、事業者金融)**

19—中堅企業監査役の知見 第40回  
**監査方針・監査計画の策定 (その2)**

20—企業短信 官報抜粋

21—倒産・動向記事

|                       |                   |         |
|-----------------------|-------------------|---------|
| 穴吹工務店など3社             | [マンション分譲、建築工事]    | (香川)    |
| ティエムシー (旧商号: ペイントハウス) | [住宅リフォーム工事]       | (東京)    |
| 日本ライツなど2社             | [液晶表示装置用バックライト製造] | (東京・鳥取) |
| 建装                    | [内装工事]            | (栃木)    |
| アイバなど2社               | [貨物自動車運送]         | (埼玉)    |
| コムズハウス                | [木造建築工事]          | (埼玉)    |

25—全国の企業倒産

# 元気企業



## in いばらき

### S.P.エンジニアリング株式会社 (日立市)

|       |  |
|-------|--|
| 企業コード | 250175421  |
| 商号    | S.P.エンジニアリング株式会社   |
| 所在地   | 茨城県日立市旭町2-2-11   |
| 代表者   | 泉 富栄   |
| 電話番号  | 0294-24-7555   |
| 設立    | 昭和49年10月   |
| 資本金   | 1,000万円  |
| 業種    | 製鉄機械、原子力関連機器、<br>研究・開発品、実験・試験装置、<br>各種プラント設計・製作、<br>建設業（機械器具設置工事、<br>管工事、電気工事） |
| 売上高   | 1,969百万円<br>(平成21年6月期)   |
| 従業員   | 20名  |
| URL   | <a href="http://www.sp-eng.co.jp/">http://www.sp-eng.co.jp/</a>                |



泉社長

ング・排気フィルタ等を、破砕機で細かく破砕してビニールバックに入れて真空減容するものであります。

この放射性廃棄物用減容処理装置は特許も出願しており、自社開発品として試作機を平成22年6月頃までに完成し弊社社屋内に設置、関係するお客様にデモンストレーションし評価をして頂き、近い将来原子力関連施設への導入を視野に設計を進めています。

製鉄機械、原子力関連機器の設計・製作などを手掛けるS.P.エンジニアリング株式会社であるが、新たに放射性廃棄物用減容処理装置を開発、同装置について代表の泉富栄社長にお話を伺った。

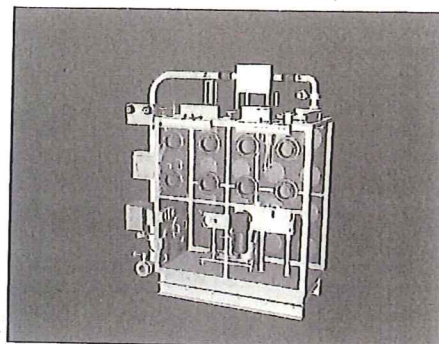
(聞き手：水戸支店 今 橋)

#### —放射性廃棄物用減容処理装置について—

放射性廃棄物用減容処理装置とは、原子力関連施設から発生する低レベル放射性廃棄物を減容（容積を減少させることをいう）するための装置です。

放射性廃棄物には可燃物と不燃物があり、可燃物は管理区域内の焼却設備にて焼却し、不燃物はドラム缶やコンテナに収納し保管しています。

弊社が開発する放射性廃棄物用減容処理装置は、グローブボックス・フード・気密箱等の負圧環境下から排出されるグローブ・インナーリ



放射性廃棄物用減容処理装置

#### —開発の動機・背景—

原子力施設では、鉛入りグローブは作業従事者がグローブボックス内で手作業で丸めてパッ

クアウトし、カートンボックスに収納、更にカートンボックスをドラム缶に収納して保管しますが、カートンボックス容積及びドラム缶容積に対する鉛入りグローブの充填率が低く非効率でした。その結果、ドラム缶の数量が増大し、保管場所の保管エリア面積が増え続け、また保管費用の増大となっています。更に作業従事者の被ばくも少なからず避けられない状態です。

グローブボックス内に設置した当該装置は、半自動で破碎・減容処理を行ない、ドラム缶に効率良く緻密に収納することができるため、ドラム缶数量の削減と保管費用の削減、また、作業従事者の被ばく低減を図ることができます。

また、従来は保管場所の関係からやむを得ず焼却処理をしていた難燃物も、当該装置の減容効果による廃棄物保管スペースの有効活用が可能となるため、ドラム缶保管が可能となり、焼却量の低減化が図れることにより、焼却処理時に排出されるCO<sub>2</sub>も削減でき、地球環境保護の観点からも有効です。

そして、従来は破碎せずに原型のまま焼却していたインナーリング・閉止栓・排気フィルタ等の木材を、当該装置にて破碎しチップ状にすることにより、不完全燃焼を防ぎ燃焼効率を向上することができ、環境への配慮と焼却後処理の効率化を図ることができます。



### — 開発品の特徴 —

- (1) グローブボックス等の気密・負圧環境下での廃棄物減容ができること。
- (2) 作業従事者の被ばく低減、地球環境保護を考慮していること。
- (3) 不燃物である鉛入りグローブ、可燃物であるインナーリング等の樹脂、排気フィルタ等の木材を当該装置1台で処理できること。

### — 商品化の目処は —

試作機をお客様に評価して頂き、既存の原子力施設で使用してもらい、機能性やコンパクト化を構築してコスト評価を十分に行ない、数年

後には商品化して各種原子力施設に導入したいと考えています。

### — 市場性は —

地球温暖化が叫ばれている昨今、ECOエネルギーとして原子力発電が見直しされてきており、今後世界各国で原子力発電所の建設が進むことが明らかであり、当該装置の市場は膨らむものと期待しています。

### — 今後について —

当該装置は原子力産業向けとして開発していますが、医療廃棄物等の処理にも有効と見ており、市場性を調査しているところです。また、他で自社開発品や新規ビジネスに取り組んでいる会社の方々と連携を取りながら、パートナーとして協力して様々な商品の開発をしていければありがたいと思っています。

弊社は毎週アイデア会議を行っております。このアイデア会議は若い社員が主体となって、いろいろなテーマを出し合って議論する場です。この会議がすぐにヒット商品や開発品に結びつくものではありませんが、様々な意見を出し合って議論することが大事であり、形に捕らわれないで自由に発想させています。これが新しいことをやる第一歩ではないでしょうか。

### — 新社屋竣工について —

平成21年3月に新社屋を竣工することができました。

これもひとえに皆様のご支援の賜物と存じ、心より感謝申し上げます。

今後は、皆様のご要望に十分にお応えできまよう、社員一同、心を合わせてなおいっそう業務に励む所存でございます。

